

延島つよ

延島小学校長 田村芳広



閉校式 ありがとう延島小お別れ式 すべての人へ感謝!!

NO. 1



4日土曜日は、延島小学校の『閉校式』、『ありがとう延島小お別れ式』においていただきありがとうございました。

3月4日は延島小学校にとって大変重要な日でした。この日をどのように迎え、式をどのように開催するかを考えながら、この1年間の閉校記念事業を行ってきました。式の目的の一つ目には、地域から学校がなくなるということが、単に延島小学校の子どもたちにとってのみではなく、ここに住んでするすべての方に関係することだと捉えたことから、3月4日を延島の地域のすべての方のものにするために、地域、保護者、学校が一体となった行事にしなければならないということがありました。そこで、延島小学校への感謝の思いを、文字にしたり、言葉にしたり、歌にしたりして、一緒に形にするという目的で計画を進めてきました。もう一つは、144年の延島小学校の教育のすばらしさを示すことです。学校の教育だけでなく、家庭の教育力、地域の教育力が最高の状況で融合し、延島小の子どもたちを育ててきたということを表すことです。それは子どもたちの姿に表れます。今年度の60名の子どもたちが延島小学校144年の教育の集大成となるよう教職員が頑張っ、保護者と連携し、地域のボランティアをお願いし、子どもたちの心を育ててきました。その子どもたちを見ていただくということがもう一つの目的です。当日は、おいでいただいた皆様の御協力も有り、この2つの目的が十分に達成できたと思っています。本当にありがとうございました。

◇閉校式

なんといっても代表児童の思いのこもった言葉はすばらしかったと思います。小学生らしく、自分の歩んできた思い出などを語りながら、延島小の誇りをもち、絹義務教育学校へ進んでいく決意をのべていました。

式辞で一番申し上げたかったことは、子どもたちを見てほしいということです。この子どもたちが延島小学校の一番の自慢であること、延島小学校はこの子どもたちそのものであるということです。今までの朝会で、閉校についてはたくさんのことを子どもたちと考えてきました。9月28日の朝会で「感謝の心」は言葉、態度、姿で表すこと、12月14日の朝会で延島小学校はみなさん(子どもたち)そのものということ、そして、1月25日の朝会で「感謝の心」をもって残りの毎日を大切に生活することなどです。式辞の内容は、閉校式のためだけの言葉ではなく、ここまで、子どもたちと延島小の閉校について考えてきたことをまとめた言葉です。



そして、子どもたちは延島小学校が終わるということを真剣に受け止め考えられるようになってきました。その思いの表れた姿を見ていただきました。式辞の中で、子どもたちが「ハイ」と返事するのも、練習せずとも、いつもの朝会と同じです。120の瞳が真剣にこちらを向き、真剣に話を聴いて、応えた姿です。

◇アトラクション

地域の方も、3月4日という日を大変重要に捉えてくださいました。ここでの目的は、次に繋ぐことでした。延島小学校はなくなりますが、延島小学校の児童という誇りをもって絹義務教育学校に行けるように、一人も残していくことなく、全員で絹義務教育学校に行くという意味を込め、神輿に全員の名前を下げ、全員で担いでステージに設置しました。おかげさまで、一緒に絹義務教育学校へ行くというイメージが子どもたちにも具体的につかめたと思います。ここまで、いろいろ御準備等いただいた関係の方々から心から御礼申し上げます。



◇ありがとう延島小お別れ式

☆思いを文字に

5年生が児童から言葉を集めました。それをもとに、席書の文字を作り、それを一人一文字ずつ丁寧に思いを込めて書きました。1、2年生は習字の授業はありませんので、今回が初めて筆を持つ子もいました。ゆっくり思いを込めて書いた様子は『書道パフォーマンスⅠ(授業参観時)』に御覧になったことと思います。この席書を完成させることが『書道パフォーマンスⅡ』でした。会場においていただいたすべての方に関わっていただきたいという思いで、カードに思いを書いていただく取組に参加していただきました。おかげさまで大変良い席書ができあがりしました。これは、いずれ下敷きにして子どもたちに記念に配付したいと考えています。

☆思いを言葉に

6年生が児童、保護者、地域から言葉を集めて、国語の教材にある『生きる』という詩をもとに原稿を作りました。皆様からいただいたものは『思い出にふけるコーナー』に掲示しました。たくさんの思いをありがとうございました。すばらしいのは、あの長い原稿を全児童がよく暗記して自信をもって大きな声で言えたことです。言葉は同じですが、子どもたちが自分で、自分の延島小への思いを表現していました。皆様の言葉も聞こえました。ありがとうございました。



☆思いを歌に

この2曲は、近年小山市の音楽祭で全校合唱で歌った歌の中から選びました。『ピリューブ』を歌う意味、『花は咲く』を歌う意味を子どもたちによく考えさせ、閉校式には歌に思いを込めて歌えるように指導してきました。最後の『校歌』は、「みなさんと一緒に歌いたいです。」と子どもたちの思いを届けさせていただきました。保護者、地域の方の声もよく聴こえてきて、一緒に思いになっていただいたことを感じました。ありがとうございました。

30号へつづきます

自学ノート がんばり

ここ最近、自学ノートを校長室へ持ってくる児童が多くいます。また、漢字、計算50問の合格シールをもらいに来る児童もたくさんいます。このようなところにも、延島小学校の閉校を意識した子どもたちの頑張りが見られます。がんばり賞を作ったり、シールを用意したり、子どもたちの頑なりに少しでも応えてあげたいという思いがあります。

2年 ○○○○ さん 3年 ○○○○ さん ○○○○ さん
5年 ○○○○ さん ○○○○ さん